

柏市健康福祉審議会
市立病院事業検討専門分科会資料

柏市の障害者医療施策 ～現状と課題～

平成28年10月18日(火)
柏市障害福祉課

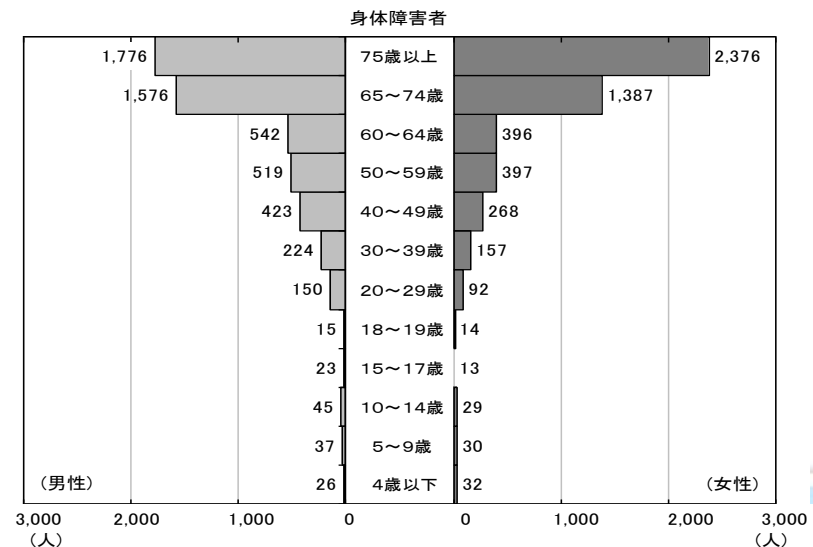
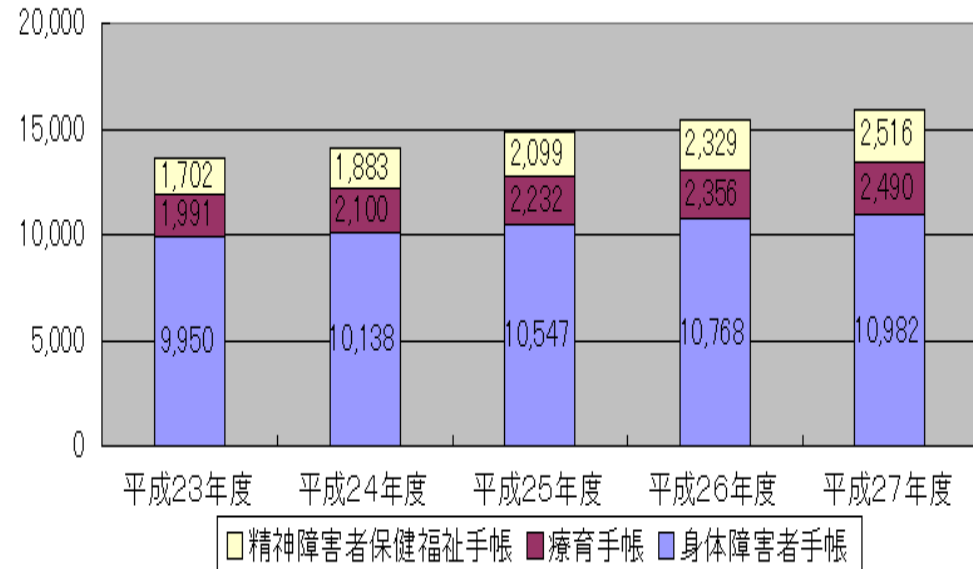
1. 柏市の障害者の現状

(1) 統計から見る障害者医療の課題

- 本市の障害者手帳所持者の数は、1万5千人を超え、今後も増加傾向。

障害者の医療受診も増加が予想される。

- 手帳所持者の2/3を占める身体障害者では、65歳以上の割合が高く、高年齢障害者の医療支援が必要。



1 柏市の障害者の現状

(2) ニーズ調査から見る障害者医療の課題

- 「障害者福祉に関する取り組みを充実させるために力を入れる必要があること」は、「保健・医療サービスの充実」が18歳以上で多く、ニーズが高い
- 医療的ケアを必要とする重症心身障害児者が、安心して地域生活を送るための支援体制の充実を求める声が高い
- 医療機関の受診に当たり、「医療関係者の福祉に対する理解が不足し、苦勞している」という声がある
- 「健康で気になること」は、「運動不足」が多く、知的障害と精神障害では「肥満が気になる」も多く、健康増進の取組みが課題

2. 柏市の支援体制と課題

(1) 構築された支援体制

① 医療的ケアやリハビリが必要な方への支援(施設支援)

東葛医療福祉センター光陽園や、ぶるーむの森の開設により、重症心身障害児者への施設支援が充実

② 医療と福祉の連携(居宅支援)

喀痰吸引等の医療行為が可能なヘルパーの養成により、重症心身障害児者への在宅での支援が充実

柏市医療ケア連絡協議会を設置し、医療と福祉がより密接に連携できるように

⇒ これらの取り組みの結果、医療的ケアが必要な重症心身障害児者や家族等への支援、医療連携が充実

(2) 課題

① 障害者への理解

医療と福祉の連携は構築されているが、現場レベルにおいては、まだ医療関係者の障害に対する理解が不足している。

② 障害者の受入れ

医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の支援は充実してきたものの、そこまで重度ではない障害者(高齢者・意思疎通の難しい者)への医療支援が行き届いていない。

3. 病院に期待すること

① 障害者への理解

会話が難しく、病状が説明できない患者に対し、コミュニケーション力やソーシャルワーク力を上げること
障害者に配慮した施設・環境の整備をすること

② 障害者の受入れ

医療的ケアまで重度ではない障害者(高齢者・意思疎通の難しい者)の急病患者を、できるだけ受け入れること

参考資料 医療的ケアとは

「医療的ケア」は、医師や看護師など基本的に医療職が行う医療行為の支援を指します。医療依存度が高い重症心身障害児者の中には、在宅生活が難しく、長期の入院をしている方もいます。

平成24年4月に制度改正が行われ、医療との連携のもと、一定の研修を受けた介護職員が「たんの吸引」と「経管栄養」など一部の医療的ケアを行うことができるようになりました。

このことにより、医療的ケアができるホームヘルパーを利用することで退院が可能となり、在宅生活が送れるようになった人もいます。

